

第 216 回
定例探鳥会

日時：2004 年 12 月 12 日 (日) 天候：曇りとときどき小雨
コース：高来神社 高麗山 八俣山 浅間山

新年あけましておめでとうございます。
今年もよろしく願っています。

2004 年は、4 月 20 日に「アオバトのふしぎ」が発行され、こまたんにとって特別な年になりました。この本の刊行を記念して 5 月から 9 月の最終日曜日には「照ヶ崎連続アオバト観察会」を 5 ヶ月に亘って実施し、毎回 50 名以上の参加者で盛況でした。湘南ケーブルネットワークの番組に出演しての本の宣伝、宿場まつりや大磯文化祭での宣伝・販売などにより売れ行き好調で、第一刷は完売することができました。またまたアオバトにどっぷりと浸かった一年でした。

2005 年は酉年です。酉年は飛躍の年といわれています。皆さんと一緒に大いに楽しみながら、大空に大きく羽ばたく年にしたいと思います。

2004 年の最後の定例探鳥会は、前日の汗ばむような小春日和とは打って変わり、どんよりと曇って肌寒く、雨が落ちてきそうな天気の中で行われました。神社の境内から高麗山の斜面を見ると、メジロとヤマガラの混群がケヤキの中を移動していきます。メジロは 30 羽以上いたようです。林の中に入ると寒さのためか鳥の声もほとんど聞こえてこないほど静かです。植物に詳しい人に、道に非常にたくさん落ちているテイカカズラの実について、白いひげの仕組みや飛び方などを説明していただいたりしながら、浅間山まで歩きました。ここでは 20 羽以上のツグミの群れが上空を旋回しているところを観察したり、ルリビタキのさえずりを聞いたりできました。一等三角点に着くころには小雨が降りだしてしまい、一年の締めくくりとしてはちょっと寂しい探鳥会を終えました。

参加者

参加人数 27 名 (敬称略)

- | | | | | |
|-------------|-------------|-----------|------------|-------------|
| 1. 瀬尾 隆 | 2. 鈴木 逸子 | 3. 吉田 宣子 | 4. 戸倉 美恵子 | 5. 関谷 静子 |
| 6. 福持 日出夫 | 7. 松下 弓子 | 8. 原 愛子 | 9. 山田 文則 | 10. 八木 正 |
| 11. 片倉 暹 | 12. 小野 肇 | 13. 薬丸 薫 | 14. 古賀 勝秋 | 15. 加藤 卓也 |
| 16. 関谷 育雄 | 17. 関谷 昂 | 18. 清水 哲子 | 19. 別所 三郎 | 20. 紺 龍彦 |
| 21. 木田 ハマ | 22. 沢田 興三 | 23. 大谷 秋代 | 24. (田端 裕) | 25. (内山規矩雄) |
| 26. (金子 典芳) | 27. (岩佐 昌夫) | | | |

見聞きした鳥

種類数 18 種 (ドバトを含む)

- | | | | | |
|----------|-------------|-------------|---------|---------|
| 1. トビ | 2. キジバト | 3. ドバト | 4. コゲラ | 5. アオゲラ |
| 6. ヒヨドリ | 7. モズ | 8. ルリビタキ | 9. シロハラ | 10. ツグミ |
| 11. ウグイス | 12. シジュウカラ | 13. ヤマガラ | 14. メジロ | 15. アオジ |
| 16. シメ | 17. ハシボソガラス | 18. ハシブトガラス | | |

日付	1/11	2/8	3/14	4/11	5/9	6/13	7/11	8/8	9/12	10/10	11/14	12/12
ホオジロ												
カシラダカ												
アオジ												
クロジ												
カワラヒワ												
マヒワ												
ウソ												
シメ												
イカル												
スズメ												
ムクドリ												
カケス												
ハシボソガラス												
ハシブトガラス												
ソウシチョウ												
ガビチョウ												
観察種類数	29	25	31	28	23	26	23	24	24	23	23	18
コース	1	1	2	2	3	4	3	5	6	6	6	6

- コース
1. 高来神社 大堂 八俵山 浅間山 湘南平
 2. 高来神社 化粧坂 水道山 湘南平
 3. 高来神社 大堂 八俵山 浅間山 地獄沢 亀堀沢 高来神社
 4. 高来神社 花水川 高来神社
 5. 高来神社 化粧坂 水道山 大磯ふれあい会館
 6. 高来神社 大堂 八俵山 浅間山(一等三角点)

2004年は中止が一度もありませんでした。6月は朝から雨でしたが17名もの参加者が集まりました。季節と天候によってコースを変えてみました。夏は林の中に入るよりも外側からの方が鳥をよく観察できます。65種が観察されました。2003年より9種増えましたが、コースをいろいろと変更したためと思われます。全回出現はキジバト、ドバト、ヒヨドリ、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、ハシブトガラスの7種です(2003年は9種)。1回だけの出現は17種でした。

【お知らせ】

「平塚の野鳥展」

平塚駅南口 駅ビル EXIST ギャラリー 1月20日まで

平塚市博物館の主催で30種類の野鳥の写真が階段と踊り場の11ヶ所に展示されています。

湘南桜ヶ丘幼稚園・花水川探鳥会

2月15日(火)および2月18日(金) 10時から11時過ぎ頃まで (予備日2/22)

9:55に幼稚園玄関前に集合(花水橋～高麗大橋間の平塚側)

かわいい幼稚園児と水辺の散歩を楽しみましょう。望遠鏡をお持ちの方の応援をお願いします。もちろん園児と一緒に観察の参加も歓迎です。

定例カウント調査

吉沢 & 土屋 2月5日(第1土曜日)

鷹取山 2月12日(第2土曜日)

午前7時に、高麗ハイツとなりの駐車場(青空市場)に集合。

午前中に解散(吉沢・土屋コースは13時頃になる可能性があります)。雨天中止

問い合わせ・連絡先

岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

鳥 報

こまたんメンバーのフィールドでの観察記録から主なものをご紹介します。

アオバト情報

照ヶ崎への飛来情報

12/25 昼の12時頃、南博さんの自宅上空を、江ノ島方向から小田原の方向へ6羽が飛ぶ

その他の場所でのアオバト情報

7/6 習志野市芝園、菊田川河口。1羽が飛んでいた。海水の吸飲は不明

12/5 京都御苑。17羽がイチイガシの実を食べていた

12/12 広沢寺温泉。1羽が飲食店の前の木にとまっていた

花水川・平塚大橋のサギねぐら調査

観察日	コサギ	ダイサギ	アオサギ	ゴイサギ	サギ合計	ムクドリ
12/8	62	3	1	1	67	約2500
12/10	41	2	1	0	44	約8000
12/13	35	3	0	0	38	約4000
12/15	51	4	0	0	55	約2500
12/17	56	2	1	0	59	約3000
12/20	41	1	0	0	42	約5000
12/23	4	1	0	0	5	約4000
12/24	51	1	1	0	53	約5500
12/27	35	0	2	0	37	約4000
12/30	31	2	1	0	34	約6000

その他の野鳥情報

シロハラ : 12/7 吉沢、1羽がカラスザンショウの高木の枝で実を啄んでいた

キクイタダキ : 12/7 吉沢・霧降の滝付近、数羽

ベニマシコ、ルリビタキ、マヒワ、カヤクグリ : 12/17 宮ヶ瀬・早戸川林道、マヒワは今シーズン初

ヤマドリ : 12/17 宮ヶ瀬・早戸川林道、1羽、長い尾を引きずるように崖の枯れ草の茂みの中に入った

ベニマシコ : 12/18 平塚市土屋、谷戸の葦原

アカゲラ : 12/18 平塚市土屋、谷戸

アリスイ : 12/18 平塚市土屋、藪の中で「キーッ、キーッ」と鳴く。コゲラの「キーッ」を少し低く力強くした感じ

タゲリ : 12/18 小田原厚木道路・伊勢原インター付近、上空を飛んでいた20+羽が休耕田に降りた

カワガラス : 12/19 広沢寺温泉、2羽

ピンズイ : 12/20 青葉区奈良町、数羽が上空を飛び、頭上の梢にとまる。尾羽をゆっくりと上下させていた

ツミ : 12/25 鷹取山・境川、狭い沢を挟んで向かい合った

アカハシハジロ、ズグロカモメ : 12/26~27 琵琶湖

アメリカヒドリ : 1/2 鈴川・東橋付近(新幹線鉄橋付近)、1羽、ヒドリガモとコガモの群れに混ざっていた

次回の定例探鳥会は2005年2月13日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第215号 / 1月号 発行所:こまたん

斎藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www.komatan.jp/>

日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/>